

平成23年度 施策事前評価結果一覧表

担当	柱	施策	柱全体に関する意見	現状と課題に対する意見	基本方針に対する意見	取り組み内容に対する意見	市長方針
1班	① 「生きる力」を生涯学ぶまち	① 家庭・地域・学校の連携による教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年「同じことをやります」と言っているのではないか。 ・教育委員会を中心とした施策であるが、各一部局との連携が欠けているのではないか。 ・やるんだという意気込みが欠けているのではないか。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・主管の部局が教育委員会に限られすぎている。 ・盛り込まれている内容が中学校までにとどまっている。18歳までは家庭にいるのだから高校生まで広げて取り組むべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習や自然体験の取り組みを都会の視点ではなく、実際の生活の中にある田舎の視点で、自然との共生での取り組みをすべき。 ・トライやるウィークについて、非常に良い取り組みではあるが、障がいをもつ子どもの受入先が限定されてしまう傾向にある。子どもにとって貴重な経験・体験であることから、市内事業所などとの一層の連携を図った取り組みとして欲しい。 ・地域の人材として、市民がボランティア活動に取り組んでいきやすく、利用しやすい人材バンク的なものを作っていくべき。 ・地域の伝統行事等を継承していく。 	教育委員会単独で取り組むのではなく、横断的な体制の構築を行う。 高校生までの教育に係る各施策(家庭教育、地域での教育)間の連携を図る。 実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。
		② 0歳からの一貫した教育環境づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には地域自治組織の果たす役割について明確化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳からということで、特に主管部局に健康福祉部も入って積極的に取り組んで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学習の場が必要。どれだけ参加者がいたかが評価ではなく、今まで参加しなかった人がどれだけ参加したかを評価すべき。 ・地域の人に様々な経験を活かした指導者として協力いただく。子育て支援にも活用をすべき。 	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。
		③ 生涯学習・次世代育成の環境づくり		—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを地域で活かせる取り組みが欲しい。特に、高齢者が地域で活躍出来るようにする。 ・子どもの力になれる取り組みが必要。退職教員等の協力も含めて考えるべき。 ・養父市について郷土愛を育てる取り組みを進める。 ・自然を活かした学習機会の創設。 	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。
		④ スポーツ振興の環境づくり		—	<ul style="list-style-type: none"> ・競技としてのスポーツとは別の視点で、自然の豊かさを活用しながら、楽しむという視点で事業を実施して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動嫌いな人が取り組めるように考えて欲しい。 ・障がいのある人が参加できるものが不足している。 ・『やぶからぼうたいそう』推進をして欲しい。 ・働き盛りの年齢層の視点がないのではないか。 	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。

担当	柱	施策	柱全体に関する意見	現状と課題に対する意見	基本方針に対する意見	取り組み内容に対する意見	市長方針
2班	② 人と自然と文化を活かし、多くの人が訪れるまち	① 交流・観光の振興	—	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の観光施設が連携する必要がある。 ・ブランド商品の開発と販売戦略が必要。 ・市の統一された観光マップが存在しない。 	—	—	現状と課題において、観光施設間の連携強化の視点を入れる。
		② 自然環境の保護・保全		<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備は十分進んでいない。 ・生物多様性の保護保全と住民生活の両立が課題。 ・有害鳥獣による食害等の森林被害を防止することが課題。 	—	—	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。
		③ 地域景観づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の拡大が、住民と観光客の心を寂しくさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の6次産業化を推進する。 ・草木等の植栽により耕作放棄地を自然景観として有効活用する。 ・多角的な農業経営により耕作放棄地を解消する。 	—	耕作放棄地対策は「④意欲をもって働き、未来を拓くまち」の施策に位置づけて取り組むこととするが、実施計画(単位施策、事務事業)の作成にあたって、自然景観としての休耕田の有効活用について検討する。
		④ 文化・芸術の継承と育成		<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿文化会館ホールの音響効果に問題がある。 ・文化財保護を担う市の人材の育成が急務。 ・文化祭などのイベントが重複することにより、イベント1つあたりの客が減少している。(開催日の調整は可能か?) ・文化・芸術を担う子供たちの育成 	—	—	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。

担当	柱	施策	柱全体に関する意見	現状と課題に対する意見	基本方針に対する意見	取り組み内容に対する意見	市長方針
3班	③ 赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らせるまち	① 災害に強く、安全に暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・10年間のスタートとして欠落しているものはないかという市民目線を見た。 ・活字が、行政用語として記載が多く、市民から見たら読みにくいものとなっているので修正願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命は自分で守る、地域は地域で守ることを基本として、「自主防災組織の育成と支援を図ること」を入れる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・単位施策4 災害防止対策事業の取り組み内容に、「里山林の倒木除去」を入れる。 ・単位施策5 交通安全・生活安全対策の取り組み内容に、「自転車の交通安全を啓発する。」を入れる。 	現状と課題において、自助・共助の理念に基づき、自主防災組織の育成について明確に示す。また、実施計画(単位施策)の作成にあたって、自転車の交通安全指導等の啓発の観点を踏まえる。
		② 誰もが生涯安心して暮らせる環境づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源が不足している、限られた資源の有効活用が求められているとあるが、行政用語等で分かりづらい。市民に分かりやすい用語を極力用いること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針④の記載内容が、市民の一般的生活確保とは考えにくいので、記述内容を見直すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位施策6 一般的市民生活の確保の取り組み内容で、児童手当等子どもに関する事務を追加すべき。 	「社会資源」の言い換え又は補足を行う。
		③ 子育てがしやすい環境づくり		—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・単位施策1 保育環境の整備の取り組み内容の中に、「③保育にかかわる職員の資質向上を図る」を入れる。 ・単位施策4 家庭に恵まれない児童等の支援の取り組み内容の中で、②中「母子家庭等の」を「母子父子家庭等の」に改める。 ・単位施策6 母子の健康を守るの取り組み内容の中で「①八鹿病院の産科、小児科の充実(医師確保)」を「八鹿病院の産科、小児科を充実(医師確保)し、里帰り安心出産病院づくり」に改める。 ・単位施策7 地域での子育て環境の整備の取り組み内容の中に「④育児休暇等取得の環境づくりを図る。」を入れる。 	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。
		④ 定住のための居住環境づくり		—	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の文中で、3Rとあるが、具体的に記載した方がわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位施策3 定住の促進の取り組み内容の中の、「充実した移動手段」を「充実した移動手段(公共交通機関等)」に改める。 	指摘に基づき、「3R」の補足を行う。取り組み内容については市民意見の反映を行う。

担当	柱	施策	柱全体に関する意見	現状と課題に対する意見	基本方針に対する意見	取り組み内容に対する意見	市長方針
4班	④ 意欲を持って働き、未来を拓くまち	① 新規参入や後継が可能な農林業の仕組みづくり	—	・シルバー世代の人財を活用する仕組みが必要。 ・森林が占める割合が高いのに、林業の現状と課題がないので加筆すべき。森林整備を行っていくこと。	・市民農園の開設など、一般市民・非農家が参入しやすい仕組みづくり	・市民農園の開設	林業の現状と課題については、実施計画(単位施策)において詳述する。また、基本方針に対する市民意見については、実施計画(事務事業)の作成にあたって検討をする。
		② 地域特性を活かした産業の創出・育成		—	・北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路の供用開始に合わせて、養父市を売り込む取り組み(ブランドの確立、観光マップの活用)はもっと重点化し、基本方針に示すべき。	・自転車用観光マップの作成	北近畿豊岡自動車道の開通効果を活かした取り組みは、実施計画(単位施策)の中で反映させる。
		③ 地域産業を振興する情報・交通網の整備		—	・国県道を中心とした幹線道路の整備を強力に進める。	・自転車歩行者道の整備、自転車用道路標識の設置など	実施計画(単位施策、事務事業)の作成にあたって、国・県幹線道路の整備促進に向けた取り組みの検討をする。
		④ 計画的な土地等の利用促進		—	・旧町単位に土地利用計画をまとめ、利活用すること。 ・農業の後継者育成だけでなく、農業者の生活基盤を確保できるような仕組みづくり	・農業の担い手に対する奨学金制度等の設立	実施計画(単位施策、事務事業)の作成にあたって、市民意見に示す事業について検討する。
5班	⑤ 互いに協力し、支え合うまち	① ユニバーサル社会の確立	・記述内容が抽象的なので、具体的なものがあればよい。	ユニバーサルの明確な定義を示すこと。	—	—	「ユニバーサル」の補足説明を行う。
		② コミュニティ活動の促進		・地域担当チーム制度は有効に機能していない。	・地域自治組織の明確な位置づけ、特に区長会との役割区分等仕分けが今後必要。	—	地域担当チームの運営については、実施計画(単位施策、事務事業)の中で十分検討する。
		③ ボランティアとNPOの育成		—	・男性ボランティアの育成強化	・NPO法人の設立及び活動に対する財政的支援、特に設立時の支援強化(3～5年間)	NPO法人の支援については、補助金などの直接的な支援策のみでなく、協働事業の提案などを含め検討する。
		④ 男女共同参画社会の促進		・現状について触れられていないのではないかと。	・全文について、次の文章への修正を検討すること。 「男女が互いに人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会を形成する。」	・審議会などへの女性の登用率の目標達成 ・各種女性団体の連携と参画	実施計画書(単位施策、事務事業)の作成にあたっては、市民意見を踏まえ取り組み内容の検討をする。